学校番号 C2101　桃谷(通)　　令和2年度 芸術(音楽)科

科目名 ：	声楽演習	単位数 ：	3 単位	必要ｽｸｰﾘﾝｸﾞ出席回数 ：	12 回
使用教科書　：なし					
学習書 ・副読本 ：：コンコーネ５０番　中声用　（全音楽譜出版）					

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	9 枚	3 枚	3 枚	3 枚
スクーリング [S]	24 回	9 回	8 回	7 回
テスト [T]	0 回	×	×	×
その他 （課題・実習等）	各範囲で、歌のテストを実施します。			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・各範囲に課題曲が3曲あります。
・課題曲を通して、歌い方を学んでいきます。
・課題曲のうちから好きな1曲を選んで、歌のテストを受けます。
・コンコーネで基礎的な練習をして、日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲を楽しみましょう。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：音楽への関心・意欲・態度	b ：音楽表現の創意工夫	c ：音楽表現の技能
観点の趣旨	曲想と歌詞の内容や楽曲の背景との関わり、曲種に応じた発声の特徴、様々な表現形態による歌唱の特徴などに関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取ったり、曲種に応じた発声の特徴を生かしたり、様々な表現形態による歌唱の特徴を生かしたりして音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けている。
評価方法	・歌唱の様子 （スクーリング） ・記述の点検 （レポート）	・演奏の聴取 （スクーリング、実技テスト）	・演奏の聴取 （スクーリング、実技テスト）

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1範囲	発声練習 課題曲	腹式呼吸の練習 コンコーネNo.1～3 「花の街」 「Nelcor piu non mi sento」 「五月の歌」	○	○	○	a.歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b.曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、どのように歌うかについて表現意図をもって歌唱している。 c.曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けて歌唱している。	・スクーリング ・レポート ・実技テスト
2範囲	発声練習 課題曲	腹式呼吸の練習 コンコーネNo.4～6 「夏の思い出」 「サンタルチア」 「Ich liebe dich」	○	○	○	a.歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b.曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもって歌唱している。 c.曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けて歌唱している。	・スクーリング ・レポート ・実技テスト
3範囲	発声練習 課題曲	腹式呼吸の練習 コンコーネNo.7～9 「アヴェマリア」 「Sogno」 「楽に寄す」	○	○	○	a.歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b.曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもって歌唱している。 c.曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けて歌唱している。	・スクーリング ・レポート ・実技テスト

※ 表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。